

授業科目 保健医療ソーシャルワーク論

【担当教員名】 村上 信	対象学年	3	対象学科	社会
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要・一般目標：G10】
現代社会における保健医療ソーシャルワークの理念と意義、患者とその家族が直面している問題状況やニーズとそれに対応する保健医療ソーシャルワークの方法と課題について学ぶ。特に、保健・医療・福祉の連携と総合化の動向の中で、保健・医療・福祉のサービスを総合する要の役割を担う保健医療ソーシャルワークの専門性やチームワーク、ネットワーク機能について考えるとともに、保健医療の諸制度の仕組みや保健医療政策の動向についても学ぶ。

- 【学習目標】
1. 保健医療サービスの理念や医療ソーシャルワークの基本について理解する。
 2. 医療保障制度（診療報酬に関する内容を含む）の理解と共に医療ソーシャルワーカーの業務と援助の展開過程について理解する。
 3. 保健医療サービスの概要と保健医療サービスにおける他職種協働について理解する。

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション		
2	現代の医療と福祉の諸問題		
3	医療ソーシャルワークとは何かー医療ソーシャルワークの発展		
4	医療ソーシャルワークの援助対象である「生活者としての患者」の理解		
5	医療と福祉に関わる社会資源とサービス供給体制		
6	医療保障と医療保険制度ー医療保険制度の概要、医療費に関する政策動向		
7	医療保障と医療保険制度ー診療報酬制度の概要		
8	専門職の役割と実際ー医師の役割、インフォームドコンセントの意義		
9	専門職の役割と実際ー看護師・保健師・理学療法士等の役割		
10	医療ソーシャルワークの役割ー医療ソーシャルワーカー業務指針		
11	医療ソーシャルワークの方法と展開過程		
12	医療ソーシャルワークの価値と倫理		
13	医療と福祉の連携ー医療機関内連携（チームアプローチ）と地域連携		
14	事例研究ー病院・セルフヘルプグループ・地域連携		
15	まとめ		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	医療ソーシャルワーク ー理論と事例検討	ジェリー・L・ジョンソン他 村上信・熊谷忠和訳	晃洋書房	2008・2008年4月
参考書				
その他の資料	必要に応じてプリントを配布する。			

【評価方法】 出席状況とレポート及び定期試験	【履修上の留意点】
---------------------------	-----------